

法学部A方式Ⅰ日程・文学部A方式Ⅱ日程・経営学部A方式Ⅱ日程

3 限 選 択 科 目 (60分)

科 目	ページ	科 目	ページ
政治・経済	2～20	日 本 史	22～41
世 界 史	42～59	地 理	60～68
数 学	70～75		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については以下の注意事項を読みなさい。

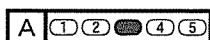
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

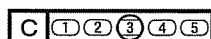
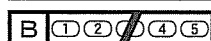
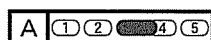
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

6. 問題冊子のページを切り離さないこと。

(世界史)

〔I〕 つぎの文を読み、下記の問いに答えよ。

1919年に戦勝国によってパリで開催された講和会議は、その前年に 党出身のアメリカ大統領 が提案した十四か条に基づいて行われた。この十四か条では、秘密外交を廃止すること、戦時下においても公海を自由に航行できること、関税障壁を撤廃すること、軍備を必要最低限の規模に縮小すること、植民地問題の公正な解決、民族自決および国際的な平和機構の設立などが提起された。⁽¹⁾₍₂₎

この会議で話し合われた内容に基づいて連合国側とドイツやその他の同盟国側の国々との間で講和条約が調印された。ドイツとの間で結ばれた⁽³⁾ヴェルサイユ条約では、アルザス・ロレーヌは に返還され、ドイツと東プロイセンとの間の地域は に編入されることとなった。また、軍備面での条項および賠償についての条項が存在した。

また、この講和会議での議論に基づいて、翌1920年には国際連盟が創設された。国際連盟は発足当時、イギリス、フランス、、そして日本が常任理事国であった。当初、アメリカ合衆国も常任理事国となる予定であったが、アメリカは上院においてこの講和条約の批准ができず、国際連盟への加入ができなかった。この背景には と呼ばれるモンロー宣言以来の主張がある。国際連盟には最高議決機関である総会、また常任理事国と非常任理事国から構成される理事会などがあった。総会は国際連盟の最高機関であり、決定に当たっては⁽⁴⁾ を原則とした。

の後を受けた 党の 大統領は国際連盟への加入には反対したが、ワシントン会議などを開催するとともに、国際的な経済の拡大のためにいくつかの政策を採用した。⁽⁵⁾これには例えば企業への減税や、農産物や工業製品に対する高率の保護関税の導入があげられる。これによって、アメリカ

では長期の景気拡大が起こる。この時代のアメリカの消費者は大量生産・大量消費(6)による恩恵を受けることとなった。

この時代のアメリカ社会にはいくつかの特徴がみられる。第1次世界大戦は女性の社会進出を促した。このことは女性参政権(7)の実現にも寄与した。しかしながら、同時にこの時期はアメリカで伝統的な白人社会の価値観が浸透した。アメリカでは建国以来、同国の支配的な地位にいるとみなされてきた人々を とよぶ。また、人種差別的な秘密結社である が勢力を拡大した。1921年及び1924年には移民法が改正され、中国や日本といったアジアの国々からの移民は禁止された。

同時期に、イギリスでは、パリで開かれた講和会議にイギリスの代表として出席した の下で選挙法の改正(8)が行われた。また、懸案のアイランド問題では、1918年に行われた総選挙で 党が勝利し、1922年にはイギリス連邦内の自治領としてアイランド自由国が承認されることになった。

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切な語句を、下記の語群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

[語群]

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 アパルトヘイト | 2 貴族 |
| 3 共和 | 4 クシャトリヤ |
| 5 孤立主義 | 6 産業資本家 |
| 7 自由 | 8 修正主義 |
| 9 集団的自衛権 | 10 シン=フェイン |
| 11 人民 | 12 全会一致 |
| 13 多数決 | 14 ノーメンクラトゥーラ |
| 15 フリーメーソン | 16 民主 |
| 17 レッセ=フェール | 18 KKK |
| 19 WASP | |

世界史

問2 文中の空欄

A

 ～

F

 に入る最も適切な人名または国名を、
下記の語群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

〔語群〕

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| 1 イタリア | 2 ウィルソン | 3 グラッドストーン |
| 4 クーリッジ | 5 ダービー | 6 中国 |
| 7 ドレフェス | 8 ハーディング | 9 フーヴァー |
| 10 フランス | 11 ポーランド | 12 マクドナルド |
| 13 ユーゴスラヴィア | 14 ロイド＝ジョージ | |

問3 下線部(1)に関して、つぎの a～d のうち説明として適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a この主張では、植民地の住民の権利が宗主国の権利よりも重視されるべきであるとされ、多くの場合にこれを順守した決定がなされた。
- b この主張に基づいて、各植民地に代議制議会が設立され、次第に政治の権限が宗主国から植民地に移されることとなった。
- c この主張では、植民地の住民の権利だけではなく、宗主国の権利についても考慮するように規定されている。
- d この主張に基づいて、国際連盟において植民地独立付与宣言がなされることとなった。

問4 下線部(2)に関して、つぎの a～d のうち説明として適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a これは異民族からの支配を打破し、革命によって独立を目指すことを主張している。
- b この主張に刺激され、アルジェリアに民族解放戦線が設立され、フランスからの独立を勝ち取った。
- c この主張に基づいて、宗主国による植民地教育が否定されるとともに、民族の自覚を促す教育がインドでなされた。
- d 各民族が自らの意思でその帰属を決定できることを主張しているが、アジアの植民地の国々にはそれは適用されなかった。

問5 下線部(3)に関連した以下の文中の空欄 ～ に入る最も適切な国名を、下記の語群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

他の同盟国との間で締結された条約も、ほぼヴェルサイユ条約に準じたものであった。 との間で締結されたサン＝ジェルマン条約では、マサリクが初代大統領となった 、後にアレクサンダル国王が国名を変更し と命名することになる国、ピウスツキを元首とする が独立を果たした。さらに、連合国は、オーストリアから独立した との間でトリアノン条約を締結した。

[語群]

- | | |
|-------------|----------|
| 1 エストニア | 2 オーストリア |
| 3 チェコスロヴァキア | 4 ハンガリー |
| 5 フィンランド | 6 ポーランド |
| 7 ユーゴスラヴィア | 8 ラトヴィア |

世界史

問6 下線部(4)に関して、つぎの a～d のうち説明として適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 非常任理事国は国際連盟の設立当初6か国であったが、後に9か国に拡大された。
- b 敗戦国であったドイツはその後国際連盟への加入を認められ、理事会の構成メンバー国となった。
- c 理事会の決議に強制力を持たせることで、国際連盟の機能が高められた。
- d 理事会は国家間の紛争に裁定を行う権限を有していた。

問7 下線部(5)に関して、つぎの a～d のうち説明として適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a この会議で締結された海軍軍縮条約では米・英・日・独・仏の主力艦の保有トン数の比率が決定された。
- b この会議で締結された太平洋における現状の維持を掲げる条約に基づいて、日英同盟が終了した。
- c この会議において、フランスとポーランドとの間に相互援助条約が締結された。
- d この会議で締結された九か国条約は中国の要求に基づいて、中国の主権や独立を尊重するものであった。

問8 下線部(6)に関連した以下の文中の空欄 ～ に入る最も適切な語句を、下記の語群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

企業が大量に生産を行うことで製品1個あたりの が大幅に低下する。これによって消費者は大量消費を行うことが可能となり、企業はさらに大量生産を行うことが可能となる。この典型例として1903年に設立されたアメリカの自動車会社である を挙げることができる。 は1914年に生産工場に を導入し、生産効率を向上させることに成功した。

[語群]

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 クライスラー | 2 原材料の使用量 |
| 3 生産コスト | 4 ゼネラルモーターズ |
| 5 トヨタ生産方式 | 6 フォード |
| 7 ベルトコンベア | |

問9 下線部(7)の女性参政権に関して、つぎのa～dのうち説明として適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 第1次世界大戦前のアメリカで女性参政権が認められている州はなかった。
- b アメリカの女性参政権運動は1914年のニューヨーク州セネカ＝フォールズで開催された集会に端を発するといわれている。
- c 国際連盟においても、加盟国に対して女性差別を禁止するための法的措置をとることが決定された。
- d 1920年に連邦憲法修正が行われることによって、アメリカのすべての州において女性参政権が認められた。

世界史

問10. 下線部(8)に関して、つぎの a～d のうち説明として適切なものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a この時に行われた選挙法の改正で、21歳以上の男女に選挙権が認められた。
- b この時に行われた選挙法の改正では、選挙権の有無についての財産資格がなお存在した。
- c この時に行われた選挙法の改正で、30歳以上の女性にも選挙権が認められた。
- d この時に行われた選挙法の改正で、20歳以上の男女に選挙権が認められた。

〔Ⅱ〕 つぎの文を読み、下記の問いに答えよ。

16世紀末、中国東北部に住む女真は、明による間接統治を受けていたが、次第⁽¹⁾に勢力を拡大して東北部を統一すると、民族名を満州に改め、1636年には国号を清とした。1644年、李自成の乱による明滅亡の知らせを受け、清のドルゴン軍は明の武将呉三桂の先導で山海関から中国内地に進み、反乱軍を打ち破って紫禁城への入城を果たした。から北京へ遷都し、幼少の順治帝は突如として満州族の世界から中華世界の頂点に立つことになった。

清は、その支配体制において明の諸制度を踏襲し、自分たちは明の継承者であることや統治の正統性を強調し、同時に明の残存勢力や流賊の討伐などを行い、内地の平定につとめた。中でも、台湾を根拠地に明の復興を唱えた鄭氏は、最後まで清に反抗を続けたが、1683年に降伏すると、清は台湾を編入して直轄領とし、ここに内地統治の基礎が固められた。

しかし、中華思想にもとづく漢人による、異民族支配への抵抗は決して解消されることはなく、そのため、清は政策においては満漢併用制の採用や、中国文化を継承し擁護するという名目のもと大規模な編纂事業を行うなど、漢人を尊重した懐柔策をとりながら、反満・反清思想を統制するための文字の獄や禁書などの威圧策を実施した。そのほかにも、従来の税制を簡略化し、民からの税収の安定的な確保を図ったの採用や、後に皇帝直属の最高諮問機関となったの設置、地方官が皇帝に直接上奏文を送ることができる奏摺制度の施行など、中央集権制を整備しながら皇帝主導の政治を可能にしていった。このような内政面の充実と財政の安定を基盤に、数多くの外征を重ねて領土を拡大し、1750年代には最大版図を造りあげた。モンゴル、チベット、新疆などの藩部に対しては、の監督下での自治権を認める間接統治を行い、朝鮮、ベトナム、タイ、ビルマなどは朝貢国とし、冊封体制の下で交易を行った。

一方で、宣教師として布教活動に訪れたイエズス会士は、西洋の新しい学問、科学技術、芸術などをもたらした。清はそれらを積極的に取り込み、彼らを外国人官吏のように扱うなど、宣教師は清の政治、文化にとって多大な貢献を果たした。

世界史

18世紀後半、外国貿易においては、貿易港を [B] 一港に限定するなど厳しい制限を設けたが、19世紀になると門戸開放を迫る欧米諸国による軍事的な外圧が激化していった。1840年に勃発したアヘン戦争では、清はイギリスの圧倒的な軍事力の前に惨敗し、南京条約で [B] など五港の開港を認め、次いで1856年に [B] で起きたアロー号事件に端を発する英仏連合軍とのアロー戦争に⁽⁵⁾も敗北すると、沿岸開港場の増加要求を受けて新たに十港を開放し、1860年には [C] も追加で開港することが決められた。

その間、国内では十年の長きにわたって太平天国による反乱が続き、またそれと呼応するように各地で連鎖的に反乱が起⁽⁶⁾こり、度重なる内憂外患で国力は疲弊した。これらの反乱が鎮圧されると、社会も外交も一時的に安定を取り戻し、富国強兵と経済再建を目指す洋務運動が推進^(b)された。その後、変法派が現れて保守的な洋務運動を批判し、急進的な政治改革の必要性を訴えて実行に移したが、西太后を中心とする保守派の武力弾圧により、その改革はあえなく頓挫^(d)した。20世紀に入り、清朝の改革は光緒新政⁽⁷⁾として実行されたが、既に遅きに失し、清朝打倒の気運が高まる中、1911年10月10日、湖北省 [D] での新軍の蜂起に端を発した辛亥革命によって、清の統治は終結を迎えた。

問1 文中の空欄 [A] ~ [D] に入る最も適切な語句を、下記の語群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

〔語群〕

- | | | | |
|----------|----------|----------|-------|
| 1 上海 | 2 寧波 | 3 南京 | 4 香港 |
| 5 大連 | 6 天津 | 7 広州 | 8 盛京 |
| 9 福州 | 10 武昌 | 11 厦門 | 12 旅順 |
| 13 カラコルム | 14 アルバジン | 15 カシユガル | |

問2 文中の空欄 ア ～ ウ に入る最も適切な語句を、下記の語群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

[語群]

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| 1 都察院 | 2 一条鞭法 | 3 理藩院 | 4 両税法 |
| 5 衛所制 | 6 軍機処 | 7 六部 | 8 内閣 |
| 9 地丁銀制 | 10 御史台 | 11 枢密院 | 12 佃戸 |

問3 下線部(1)について、ヌルハチとホンタイジの事績に関する記述として正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ヌルハチは、1616年にサルフでの明軍との直接対決に勝利すると、女真諸部族を統一してアイシン国を建国した。
- b ヌルハチは、女真の言語を表記するために女真文字の制作を命じ、それらを応用して満州文字が作られた。
- c ホンタイジは、内モンゴルへの侵攻を進めて1635年にチャハルを平定すると、翌年には国号を清に改めた。
- d ホンタイジは、八旗制を創設し、後に満州八旗、蒙古八旗、漢軍八旗の三民族からなる体制に編成した。

問4 下線部(2)について、鄭氏一族に関する記述として間違っているものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 鄭成功は、江戸時代に近松門左衛門が著した浄瑠璃『国性爺合戦』の、主人公のモデルにもなった。
- b 鄭成功は、東洋貿易の拠点として台湾を統治していたポルトガル人を駆逐し、台湾を占領した。
- c 鄭成功の母親は日本人であり、鄭成功も明の滅亡後に日本に援軍を求めたことがあった。
- d 鄭成功の勢力を孤立させるため、清は沿海地域の住民を内陸に移住させる遷界令を発布した。

世界史

問5 下線部(3)について、17世紀後半から18世紀における清の領土支配に関する記述として正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 康熙帝は、東トルキスタン一帯の地域を支配し、その地を「新疆」と呼んだ。
- b 康熙帝は、ロシアとキャフタ条約を結び、アルゲン川と外興安嶺を両国の国境とした。
- c 乾隆帝は、ロシアとネルチンスク条約を結び、モンゴル地区における両国の国境を画定した。
- d 乾隆帝は、ジュンガルの根拠地であるイリ地方を制圧し、藩部に組み入れた。

問6 下線部(4)について、清におけるイエズス会宣教師に関する記述として正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a スペイン出身のカステイリオーネは、宮廷画家として多くの作品を残し、西洋画法を紹介した。また、ルネッサンス様式の宮殿建築としても有名な円明園の設計にも参加した。
- b フランス出身のブーヴェは、乾隆帝に仕えて暦法作成に貢献し、天文台の長官をつとめた。また、レジスらとともに実測にもとづく初の中国全図『皇輿全覧図』を完成させた。
- c ベルギー出身のフェルビーストは、中国名を南懐仁といい、康熙帝に信任されて西洋の暦法の採用や大砲の鑄造などに活躍した。また、世界地図である『坤輿全図』を作成した。
- d 中国人信者が中国の伝統的儀礼(典礼)に参加するのをローマ教皇が禁止したことを受けて、雍正帝はイエズス会以外の宣教師を国外退去させた。

問7 下線部(5)について、アロー戦争に関する記述として間違っているものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 恭親王奕訢はアロー戦争の事後処理を担当し、総理各国事務衙門の創設にも努め自らその首席となった。
- b 天津条約の批准書交換の際に再び戦争となり、改めて北京条約が結ばれた。
- c 北京を占領した英仏連合軍は、円明園を徹底的に破壊し、略奪を行った。
- d 戦後、北京の公使館区域防衛のための駐兵権、外国人の内地旅行の自由化などが認められた。

問8 下線部(6)について、太平天国に関する記述として正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 1853年に南京を占領すると、平京と改称して都とし、天朝田畝制度、租税の軽減、辮髪や纏足を禁止する政策を打ち立てた。
- b 清の正規軍だけでは反乱の鎮圧はかなわず、湘軍や淮軍などの郷勇やゴードン率いる常勝軍が鎮圧において重要な役割を果たした。
- c 西洋の宗教の影響を受けて組織された宗教結社である上帝会を中心に樹立され、「滅洋興漢」をスローガンにして民衆の支持を集めた。
- d 弥勒仏が救世主として現れる下生信仰と結びついて大きな勢力となった白蓮教が樹立し、「弥勒下生」を唱えて貧困農民の支持を集めた。

問9 下線部(7)について、光緒新政の内容に関する記述として正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 1905年、科挙を廃止した。
- b 1908年、8年以内の憲法制定と国会開設を公約した。
- c フランス共和国憲法を模範にした憲法大綱を発表した。
- d 「中体西用」にもとづく立憲君主制を樹立した。

世界史

問10 下線部(a)について、乾隆帝の命により紀昀らが編纂した中国最大の叢書の名称を解答欄に記入せよ。

問11 下線部(b)について、内政・外交の小康期であるこの時代の治世を何と呼ぶか。解答欄に記入せよ。

問12 下線部(c)について、洋務運動は漢人官僚が主導となって推進したが、そのうちの一人は淮軍を組織した人物でもある。この人物の名前を解答欄に記入せよ。

問13 下線部(d)について、西太后とともに戊戌の変法を弾圧したある人物は、日清戦争後には新軍(新建陸軍)の整備にも携わり、やがて清朝最大の実力者となった。この人物の名前を解答欄に記入せよ。

〔Ⅲ〕 つぎの文を読み、下記の問いに答えよ。

古代の人々は山や海や大地、種々の動物、太陽や月、さらに一族の始祖など、さまざまな対象を神として崇拜した。古代の中近東もそのような多神教の世界であった。だが現代の中近東で優勢を占めるイスラーム、少数派のキリスト教やユダヤ教、これらは一神教である。一神教の出現について見てみよう。

古代エジプトでも死と復活の神 a など、多様な神々が崇拜されていた。古王国時代には太陽神ラーの信仰が盛んであったが、中王国時代に政治の中心がナイル川中流域の都市 b に移ると、その都市の守護神アメン(アモン)が勢いを強めた。新王国時代に入るとアメンは国家神となり、ラーとも習合してその信仰はますます盛んになった。王たちがアメン神殿に土地を寄進するなどした結果、アメン神官団の勢力も増し、王権との間に確執が生じるほどになった。そのような状況下で前14世紀中葉、アメンホテプ4世により一神教の導入が試みられた。王はラーとは別の太陽神を唯一神とし、その太陽神にちなんだ名に改名。⁽¹⁾ その神のために新都を建設して遷都し、他の神々の祭祀を禁じた。しかし、この一神教は一般のエジプト人には浸透せず、王の後継者はアメン信仰に復帰せざるをえなかった。

その頃パレスチナに侵入・定着し始め、前11世紀末には統一王国を形成したセム系の c は、始祖アブラハムは神と契約を結びパレスチナを約束の地として与えられたと信じ、アブラハムの孫に神が与えた名とされる「イスラエル」を自称した。彼らはまた、エジプトに移住した先祖がモーセに率いられエジプトからパレスチナに向かう途中、神はシナイ山でモーセに律法を授与し、これによりイスラエル全体が神との契約を受け継いだと信じた。c はこの契約の神ヤハウェを唯一神と見なし、統一王国の都には第3代の王によりヤハウェ神殿が建てられた。⁽²⁾ だが王の死後、王国は北のイスラエル王国と、都を含む南部のユダ王国に分裂。北の王国は前722年、メソポタミア統一後にパレスチナに進出してきた大国に滅ぼされた。⁽⁷⁾ ユダ王国も前586年、別の大国に滅ぼされた。都のヤハウェ神殿は破壊され、住民の多くはバビロンに強制連行された。続く捕囚時代に c は、この苦難は唯一神ヤハウェへの信仰や律法遵守がゆるんだことへ

世界史

の神罰という認識と、神はメシア(救世主)を遣わして契約の民を救済してくれるという信仰を強めた。前538年に捕囚状態から解放されユダ王国の故地に帰還した は、かつての都にヤハウエ神殿を再建し、ヤハウエー神教を確立した。これがユダヤ教である。文字が普及する前10世紀以降、歴史伝承、神の啓示によりモーセに与えられた律法、預言者たちの言葉などが徐々に文書化され、それらに新しい諸文書も加わり、前1世紀にはユダヤ教の教典も成立した。

その前1世紀半ば、パレスチナはローマの影響下に入り、前30年代に入ると、ローマ元老院から「ユダヤ王」の称号を得たヘロデ王の支配下に置かれた。前4年にヘロデが病死すると各地で混乱が続き、時のローマ皇帝は結局、ユダヤの地をローマの属州とした。⁽⁴⁾ヘロデ王の治世末期に生まれたイエスは30歳頃から、神殿祭司層や厳格な律法遵守を貫くあまり形式主義に陥っている一部のユダヤ教徒を批判し、神の絶対愛と神の国の到来が近いことを説き始めた。ユダヤ指導層が彼をローマの属州総督に訴えた結果、イエスは十字架刑に処せられた。だがその死後、弟子たちの間にイエスが復活したという信仰が広がり、イエスこそメシアだと信じる人々が信徒共同体を形成した。キリスト教の成立である。ただし成立直後の信徒共同体は、イエス＝メシア(ギリシア語でクリストス[キリスト])と信じる以外は、律法遵守などの点で他のユダヤ教徒と大差はなかった。だが、熱心なユダヤ教徒でイエス信者を迫害していた は、復活のイエスに出会って回心し、神から義とされるのは律法遵守ではなく信仰によってのみ、と説いた。そして、異邦人(非ユダヤ教徒)伝道を進め、キリスト教が普遍的宗教へと発展する礎を築いた。 は60年代前半にローマ市で殉教するが、その頃パレスチナではユダヤ教徒がローマ⁽¹⁾支配への反発を強め、ついに第1次ユダヤ戦争(66～70年)を起こした。キリスト教徒がこれに加担しなかったことを機に、以後、ユダヤ教とキリスト教の分離・対立が明確になっていく。

このようにキリスト教はイエスの死後に成立したのだが、イスラーム教はムハンマドが創始した一神教である。彼が生まれた頃のアラビア半島にはユダヤ教徒やキリスト教徒もいたが、アラブ人の大半は多神教徒だった。ムハンマドの生家が属する 族は、古くから多神教の聖地であったメッカの 神殿の管理権を掌握し、遠距離交易にも乗り出して富強を誇っていた。ムハンマド

は610年頃、唯一神から最初の啓示を受けて自分は預言者であると自覚するようになり、この唯一神(アラビア語でアッラー)への帰依・絶対服従(イスラーム)を説き始めた。その教えを危険視したメッカの大商人らは彼とその仲間を迫害したため、ムハンマドらは622年、メディナに活動の拠点を移し、メディナには信徒の共同体が組織された。⁽⁵⁾ 同じ唯一神を信仰するユダヤ教徒やキリスト教徒とは共存の道もあり得たかもしれないが、その後の対メッカ戦の経緯の中で、ムハンマドはユダヤ教徒やキリスト教徒と決別し、イスラーム教は純粋な一神教徒であったアブラハムの宗教の復活であり、ユダヤ教やキリスト教はアブラハムの宗教から逸脱したものと主張するようになった。⁽⁶⁾ 630年にメッカを征服したムハンマドは、 神殿内に祀られていた多くの偶像を徹底的に破壊した。だが、アブラハムが基礎をつくったとされる 神殿自体は、その後イスラームの聖地となった。

このようにユダヤ教・キリスト教・イスラーム教は、本来同じ神を信仰する一神教であった。それらが互いに、しばしば激しい暴力を伴う対立・抗争を繰り返しながら今日に至っている経緯には、慨嘆の思いを禁じ得ない。

問1 文中の空欄 ～ に入る最も適切な語句を、下記の語群からそれぞれ一つ選び、その数字を解答欄にマークせよ。

[語群]

- | | | | |
|----------|----------|---------|----------|
| 1 アマルナ | 2 アラム人 | 3 イシス | 4 ウマイヤ |
| 5 オシリス | 6 カナーン人 | 7 ギザ | 8 クライシュ |
| 9 テーベ | 10 ナバタイ | 11 ハーシム | 12 ヘブライ人 |
| 13 ペリシテ人 | 14 マルドゥク | 15 ミトラ | 16 メンフィス |

世界史

問2 下線部(ア)について、この国に関する記述として正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 最盛期の王は文化の保護にも力を入れ、首都に大図書館を造った。
- b 最盛期の王は帝国統一の戦功を記念するベヒストゥーン碑文を残した。
- c 世界最古の金属貨幣を造った。
- d 前2千年紀前半以来、ユーフラテス川の最下流域で商業国家として栄えていた。

問3 下線部(イ)について、この時期のローマ市に関する記述として正しいものを以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a 五賢帝時代に入り、空前の繁栄を迎えようとしていた。
- b コロッセウムやカラカラ浴場が建設され、都市整備事業が進んでいた。
- c ネロ帝の治下であり、ローマ市では大火事が起きた。
- d 中東から伝わったマニ教が急速に拡大し、皇帝による迫害を受けた。

問4 下線部(ウ)について、アラブ帝国時代のユダヤ教徒・キリスト教徒が置かれた状況の記述として正しいものを、以下のa～dから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- a ムハンマドの主張に基づき、イスラーム教への改宗を強制された。
- b ムハンマドの主張にもかかわらず、啓典の民としてムスリムと対等の扱いを受けた。
- c 生命・財産の安全と信仰の自由を保証され、地租は課されたが、人頭税は免除された。
- d 人頭税と地租の支払いを条件に、生命・財産の安全と信仰の自由を保証された。

問5 下線部(1)について、アメンホテプ4世の改名後の名前を解答欄に記入せよ。

問6 下線部(2)について、最高の知恵者とも称えられたこの第3代王の名前を解答欄に記入せよ。

問7 下線部(3)について、このユダヤ教の教典の、キリスト教による呼称を解答欄に記入せよ。

問8 下線部(4)について、この皇帝が当時なっていた名を解答欄に記入せよ。

問9 下線部(5)について、イスラーム暦の紀元とされるこの出来事は、何と呼ばれるか。カタカナで解答欄に記入せよ。

問10 下線部(6)について、このイスラーム教徒の共同体のことを何と言うか、解答欄に記入せよ。

問11 文中の空欄

A

 に入る最も適切な人名を、解答欄に記入せよ。

問12 文中の空欄

B

 に入る最も適切な語句を、解答欄に記入せよ。